



## ☑ 外来：内視鏡

内視鏡室では、内視鏡技師の資格を持つ看護師が中心となり、受診者様一人ひとりの状態に合わせた対応を行っています。

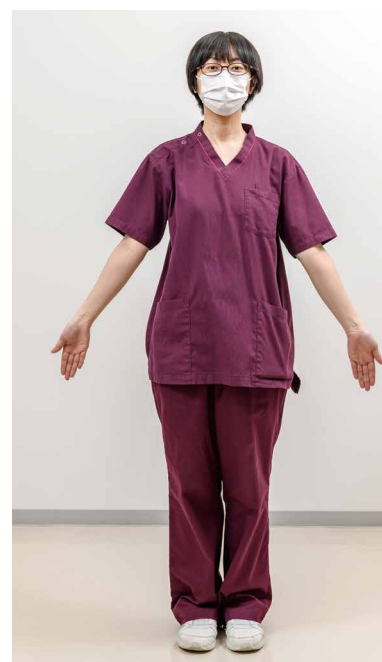
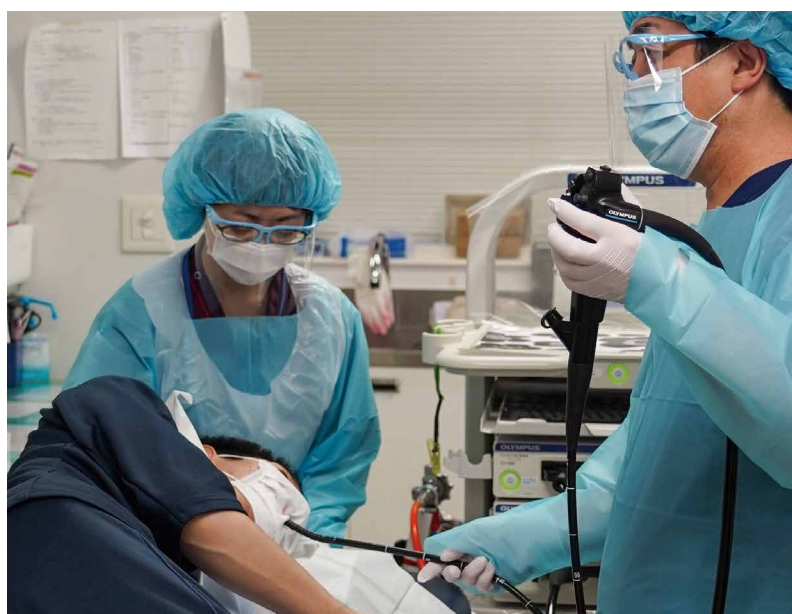
胃がん検診の胃部X線検査で再検査が必要とされた方には食道・胃・十二指腸をみる上部内視鏡を、大腸がん検診の便潜血検査で陽性だった方には大腸をみる下部内視鏡を行っています。

また、人間ドックや自治体のがん検診で上部内視鏡検査を選択される方への検査や、外来を受診された方に対する検査も行っていきます。

## • 検査の方法

内視鏡検査は、上部・下部ともに医師がスコープで撮影を行いながら調べます。気になる部分があった場合はその場で組織を採取し、治療が必要なものかどうか判定します。

また、下部内視鏡では、ポリプの大きさや形態によって切除術（コールドポリペクトミー）を行うこともあります。



## • 感染対策

感染防止のため清潔な状態を保つよう、スタンダードプリコーション（標準予防策）と感染経路予防策を徹底し、検査に当たっています。スコープは1回ごとに最新の自動洗浄・消毒装置を用い、さらに過酢酸による高水準消毒で丁寧に消毒を行っています。スコープにはそれぞれ番号がつけられており、使用した受診者様や洗浄機の履歴と合わせることで、万一の際に感染経路を追跡できるようにしています。

今回のコロナ禍を受け、以前よりさらに完全防備で安全・安心に検査を進められるよう努めています。

こんにちは!

# 健康支援センターです!

本会の健康支援センターの仕事をご紹介します。

## 看護部

看護部は、婦人科・外来・健康診断（健診）の3つの担当制で構成されています。

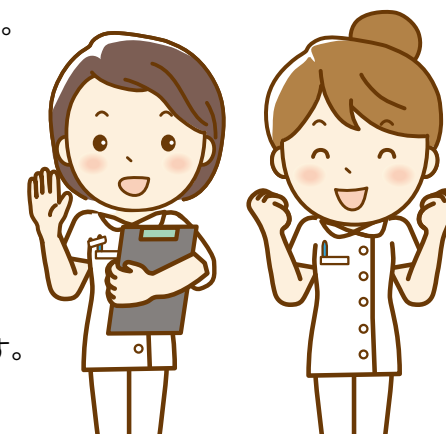
婦人科担当は女性専用のフロアで検診・精検・女性外来・乳腺外来の受付や検査介助を行っています。

また、外来担当は上部・下部内視鏡検査を中心に、医師とともに安心、安全な検査や診療を目標に取り組んでいます。

健診担当は人間ドック・施設内健診・巡回健診で検査等を行っています。

現在、看護部には職員と短時間勤務者合わせて38人が在籍していますが、そのうち5人は育休中です。

子育てしながら働きたい女性を応援しつつ、ワンチームとなり仕事をしています。それでは、担当ごとの仕事をご紹介します。



## ☑ 婦人科

婦人科のフロアには子宮がん検診、乳がん検診、精密検査センター、乳腺外来、女性外来があります。子宮がん・乳がんの検診で精密検査が必要となった場合に、子宮がんは精密検査センターで、乳がんは乳腺外来で、より詳しい検査を行います。

また、女性外来では子宮筋腫や更年期障害などの女性特有の疾患に対応しています。受診者様がスムーズに検査・診察を受けられるように、関連部署と連携を図りながら丁寧な対応を心がけています。



## ☑ 外来：専門外来等

本会の保健会館クリニックには消化器、糖尿病、甲状腺、循環器、呼吸器等々…さまざまな専門外来が開かれています。また、健康診断で精密検査が必要とされた方も受診されます。受診者様の状況に応じて、採血、超音波、レントゲン、心電図などの検査にご案内します。

さらに、インフルエンザワクチン、麻しん風しん混合ワクチン、肺炎球菌ワクチン、新型コロナワクチンの接種も行っています。





## ☑ 健康診断（健診）

健康診断は、生活習慣病をはじめ、さまざまな病気の早期発見や予防を目的として行われます。

このうち看護部は、主に採血、視力、血圧、問診などを担当しています。

### ・採血について

採血は、自覚できない病気を早期発見し、生活習慣を見直すきっかけになる、とても重要な検査です。

本会では従来採血に使用していた「直針ホルダー」を「翼状針ホルダー」に切り替え、人間ドック・各種健診の採血に使用しています。翼状針を使用することにより、神経損傷等のトラブルやリスクが減少し、受診者様には痛みが少なく、より安全に採血を受けていただけるようになりました。

また、採血の後に使用する止血ベルトは、感染対策として自着性のある伸縮包帯を採用しています。手で押さえずに止血ができ、使い捨てのため衛生的です。

以上のような物品を使用することで、コロナ禍の中でも受診者様に安心して精度の高い健康診断をお受けいただけるよう心がけています。



受診者様に安心して受診していただけるよう、私たち看護師はナースミーティングをはじめとする研修や講習などを随時行い、スタッフの知識や技術のレベルアップを図っています。

受診者様一人ひとりのニーズにお応えするために、専門的な知識の習得に加え、検査準備から終了まで安心して受診していただけるよう、真摯な対応を心がけています。



## 小児健康相談室のご案内

検診で異常を指摘された子どもを対象に、専門医によるフォローアップを行っています

学校検診で異常を指摘されたけれど、近くに専門医がない。軽微な異常で治療は必要ないけれど、定期的な経過観察は必要。「小児健康相談室」では、そうした子どもたちを対象として、専門医による経過観察、生活指導を行っています。

検査や診断には費用がかかります（保険診療）。本会で学校検診を受けた方は、検査・検診時のデータを用いて診療や相談が可能です。

	腎臓病	心臓病	貧血	脊柱側弯症	肥満・コレステロール	思春期やせ症
担当医	村上陸美 日本医科大学 名誉教授	浅井利夫 東京女子医科大学 名誉教授	前田美穂 日本医科大学 名誉教授	南昌平 聖隷佐倉市民病院 名誉院長	岡田知雄 神奈川工科大学 健康医療科学部特任教授	鈴木真理 跡見学園女子大学 心理学部特任教授
外来日	第3木曜日 午前	第1木曜日 午後	第1水曜日 午後	第2月曜日 午後 第4金曜日 午後	第3火曜日 午後	第2木曜日 午後

前田美穂先生による  
『貧血電話相談室』  
養護教諭・保健師・看護師からの相談をお受けします（無料）  
開催日：第1水曜日 14時半～15時半



問い合わせ・申し込み

公益財団法人 東京都予防医学協会 地域・学校保健事業部

東京都新宿区市谷砂土原町1-2

☎ 03-3269-1131